

令和2年度 山口県中学校長会 第72回総会 並びに春季研修大会開催要項

- | | | | |
|---|---|---|-------------|
| 1 | 期 | 日 | 令和2年5月8日(金) |
| 2 | 会 | 場 | 山口県教育会館大ホール |
| 3 | 主 | 催 | 山口県中学校長会 |
| 4 | 共 | 催 | 山口県教育委員会 |

5 研究主題 「新たな時代を切り拓き、よりよい社会を創り出していく日本人を育てる中学校教育」

今を生きる子供たちやこれから誕生する子供たちが、成人して活躍する頃には、我が国は新たな局面を迎えていると予想される。生産年齢人口の減少、グローバル化の進展や人工知能(AI)の飛躍的な進化など絶え間ない技術革新等により、社会構造や雇用環境は大きく変化しており、予測が困難な時代となっている。また、急激な少子高齢化が進む中で成熟社会を迎えた我が国にあっては、一人一人が持続可能な社会の担い手として、その多様性を原動力とし、質的な豊かさを伴った個人と社会の成長につながる新たな価値を生み出していくことが必要である。このような時代を担う子どもたちには、様々な変化に積極的に向き合うとともに我が国の伝統や文化に立脚し、高い志や意欲を持つ自立した日本人として、他者と協働しながら価値の創造に挑み、よりよい社会を創り出していく力を身に付けることが求められている。

平成29年3月に告示された新学習指導要領の来年度全面実施をひかえ、今回の学習指導要領の改訂の基本的な考え方を今一度確認したい。その一つ目は、子供たちが未来社会を切り拓くために求められる資質・能力とは何かを社会と共有し、連携する「社会に開かれた教育課程」を重視することである。二つ目は、知識及び技能の習得と、思考力、判断力、表現力等のバランスを重視しながら、知識の理解の質をさらに高め、確かな学力を育成することである。三つ目は、道徳教育の充実や体験活動の重視、体育・健康に関する指導の充実により、豊かな心や健やかな体を育成することである。また、今回の改訂では、「主体的・対話的で深い学び」の重要性を掲げ、知・徳・体にわたる「生きる力」を子供たちに育むため、「何のために学ぶのか」という学習の意義を共有しながら、各教科等を①知識及び技能、②思考力、判断力、表現力等、③学びに向かう力、人間性等の3つの柱で再整理し、「何ができるようになるか」を明確化するとともに、これまでの教育実践の蓄積に基づく授業改善により、子供たちの知識の質の向上を図り、これからの新たな時代に求められる資質・能力を育むことの必要性について述べている。さらに、学校全体として、教育内容や時間の適切な配分、必要な人的・物的な体制の確保、実施状況に基づく改善などを通して、教育課程に基づく教育活動を充実させ、学習の効果の最大化を図るカリキュラム・マネジメントの確立の必要性についても掲げられている。

一方、中学校教育の現状を見ると、いじめ防止対策推進法は制定されたものの、いじめは、なお深刻な課題となっている。また、規範意識や社会性、学習意欲の低下、暴力行為等の問題行動の増加など、様々な課題が指摘されている。これらの課題の解決を図るとともに、不登校の解消や自殺(自傷行為)防止等に取り組み、子供たちの命や安全を守るためにも、学校は、閉鎖的と言われてきた従来の体質から抜け出し、「地域とともにある学校」に転換していくことが求められている。

そして、これからの学校教育を担う教員には、一斉指導型の授業から脱却するだけでなく、質の高い新しい授業をマネジメントすることが求められている。そのため、中学校教育においては、教員の負担の軽減を図るとともに、どこまでが教員の果たすべき役割であるのかを明確にし、その担うべき役割のための教員の専門性の向上を図っていく必要がある。併せて、子供たち一人一人が、予測できない変化に主体的に向き合っていて関わり合い、これからの新たな時代を切り拓いていくために自らの可能性を発揮し、よりよい社会を創り出していく力を身に付けさせることが必要である。

山口県教育委員会においては、平成30年に令和4年度までの「山口県教育振興基本計画」が策定され、教育目標を「未来を拓くたくましい『やまぐちっ子』の育成」として掲げた。その達成のため①知・徳・体の調和のとれた教育の推進、②学校・家庭・地域が連携・協働した教育の推進、③生涯を通じた学びの充実、④豊かな学びを支える教育環境の充実の4つを柱とし、取り組みを進めているところである。平成27年3月には、新たな県政運営の指針として「元氣創出やまぐち！ 未来開拓チャレンジプラン」が策定され、学力向上はもとより、いじめや不登校への対応、家庭・地域の教育力の向上など、複雑・多様化する現下の教育課題への確に対応するとともに、ふるさとに誇りと愛着をもち、積極的に社会の形成に参画し、その発展に貢献していく人材の育成に向けて、学校を核としてコミュニティ・スクールややまぐち型地域連携教育を充実させ、学校と家庭・地域が連携・協働する取組を進めていくことが一層求められている。

私たち校長は学校経営の責任者としての使命感や確固たる教育理念とビジョンをもち、課題解決に向けたリーダーシップを強く発揮しなければならない。研究推進に当たっては、新たな教育課題に対しても果敢に挑戦し、それぞれの校長の豊かな経験と経営理念に基づいた実践的な提案や情報交換をもとに、引き続き「校長の視点・はたらきかけ」に焦点化して研修を深め、自らの学校の教育実践や人材育成に生かしていくことが必要である。地域住民から支持され信頼される学校の創造を目指し、山口県らしい教育の具現化を図り、広く県民の信託に応えることとする。

6 分科会・研究協議題及び担当地区

分 科 会		研 究 協 議 題	担当地区
第 1 分科会	教 育 課 程	「カリキュラム・マネジメント」の推進	下 松
第 2 分科会	学 習 指 導	「主体的・対話的で深い学び」の実現 ～校長のカリキュラム・マネジメントの進め方～	美 祢
第 3 分科会	道 徳 教 育	よりよく生きようとする意思や能力を育む道徳教育の充実 ～道徳科の授業力の向上と小中連携について～	長 門
第 4 分科会	健 康 教 育	健康で安全な生活と豊かなスポーツライフを実現するための教育の充実	下 関
第 5 分科会	キャリア教 育	社会的・職業的自立に向けたキャリア教育と進路指導の充実 ～生徒のキャリア発達を支えるカリキュラム・マネジメントの創造～	山 口
第 6 分科会	生 徒 指 導	自他を敬愛し他者と協働しながら自己実現を図るための自己指導能力を育成する生徒指導の充実	岩 国
第 7 分科会	現 職 教 育	多様化した学校教育課題に対応できる教員の育成	萩・阿武
第 8 分科会	学 校 経 営	地域との連携・協働による「チーム学校」の実現	熊 毛

7 総会並びに春季研修大会日程

		5 月 8 日 (金)	
9:30	受 付		
9:50	総 会	1 開会のことば	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 新型コロナウイルス感 染拡大の状況を受けて、 総会は書面会議に変更、 春季研修大会は中止 </div>
		2 会長あいさつ	
		3 新入会員紹介・会員章贈呈・あいさつ	
		4 議長選出	
		5 議 事	
		(1) 令和元年度事業報告・決算報告・監査報告	
		(2) 役員選出	
	(3) 新役員あいさつ		
	(4) 令和2年度事業計画・予算審議		
	6 感謝状贈呈・あいさつ		
10:50	休 憩		
11:00	春 季 研 修 大 会	開会行事	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 新型コロナウイルス感 染拡大の状況を受けて、 総会は書面会議に変更、 春季研修大会は中止 </div>
		1 開式のことば	
		2 国歌斉唱	
		3 信条唱和	
		4 山口県中学校長会長あいさつ	
		5 山口県教育委員会教育長あいさつ	
		6 来賓紹介	
	7 閉式のことば		
11:30	山口県教育委員会指導		
12:15	昼 食 ・ 休 憩		
13:00	連 絡 ・ 説 明		
13:10	提 案 ①新学習指導要領における学習評価について ②中体連主催大会の今後について		
14:15	休 憩		
14:30	研修主題説明		
14:40	分科会研修主題・研究の視点について		
15:20	中学校文化連盟評議員会		
15:30	閉会行事 会長あいさつ		
15:40	諸 連 絡		

